

編集後記

(56巻 第7号 2010年7月)

世界はサッカーワールドカップで盛り上がっている。日本も予選リーグを突破して決勝トーナメントに進出したが、残念ながらベスト8には残れなかった。しかし、遠いアウェイでの大会で決勝トーナメントに残れたということは日本のサッカーの伝統が徐々に築かれつつあることを意味している。今回の活躍も日本サッカーの伝統のなかで大きなマイルストーンになることは間違いない。

予選リーグの期間中、日独泌尿器科学会出席のためにオランダ、ドイツを訪問していた。偶然にもオランダのスキポール空港到着時に日本・オランダ戦の後半が行われていたため、大急ぎで到着ロビーのテレビに行きオランダ人に囲まれて観戦した。終了間際のラストチャンスでは思わず大声が出て、ちょっと睨まれたりもした。結局0-1で敗れ、入国管理の係員からは“Good job”と皮肉混じりの笑顔で対応され、日本からの荷物は手荷物カウンターで寂しく回り続けていた。

(小川 修)